

2019年5月18日(土)

14:00~16:00

かながわ県民センター 2階ホール

火葬の広まりを考える-横浜の古代墳墓を中心に-

公益財団法人 かながわ考古学財団

西田 真由子

はじめに

仏教による火葬は、文献上では、8世紀より広まったとされています。この講座では、地方において仏教による火葬がどのように受容され、広まったか、考古学的な視点から考えたいと思います。まず、火葬墓とは何か、都の事例を紹介します。そして地方における火葬の導入と展開について、他地域の紹介をし、最後に横浜市域の遺跡を中心に考察します。

1. 火葬墓とは

本講座で扱うのは・・・

仏教の影響を受けた後の火葬墓。遺体を茶毘に付して骨化させ、骨を拾骨し、容器に入れ、納骨するもの。

(1) 文献上の火葬の登場

○『続日本紀』

- ・文武天皇四年(700年)僧「道昭」の火葬 「天下の火葬此より生まれり」
- ・大宝2年(702年)持統天皇の火葬

(2) 火葬墓の埋葬施設と蔵骨器の種類

○埋葬施設(図3)

○蔵骨器の種類

- ・金属製容器・奈良三彩・ガラス・灰釉陶器・須恵器・土師器・石櫃・木櫃
- ・陶棺 等

○参考：火化地遺構(図4)

- ・茶毘跡のこと。事例が少なく、火葬墓の関係が不明な場合が多い。

(4) 買地券と墓誌-火葬墓から出土する鉄板-

仏教的な要素だけでなく、中国由来の習慣や道教の要素も取り入れられている。

2. 地方における火葬の導入 -静岡県的事例-大北横穴群と清水柳北1号墳の紹介

(1) 清水柳北1号墳(沼津市足高)(図7)

上円下方墳の主体部に石櫃 8世紀前葉

(2) 大北横穴群(伊豆の国市大仁)(図8~11)

横穴内に石櫃を収める 8世紀前葉~9世紀

→古墳時代から続く墓制に火葬の要素が追加

被葬者像:24号横穴出土石櫃の「若舎人」…「官人」

○この遺跡からわかること

★「導入期」…モデルとなる火葬墓の導入…24号横穴石櫃

★「展開期」…定着や在地化のみられる段階

3. 横浜市内の火葬墓

(1) 火葬墓の事例(図13~16)

○埋葬施設

・素掘りの土坑

○蔵骨器の種類

・土師器専用蔵骨器・灰釉陶器・石櫃・須恵器・土師器(日用品)

○参考:土坑墓(図17)

火葬墓に後出して9世紀中葉~後葉に登場

(2) 周辺遺跡の立地(図18)

①丘陵上に火葬墓のみで立地するもの

②拠点集落および、小規模集落と近接して立地するもの

③古墳(横穴墓)と墓域を同じにするが時期的な継続性がないもの

★8世紀前葉に火葬墓が登場するものの、空白期が存在

9世紀以降「展開期」の火葬墓が中心

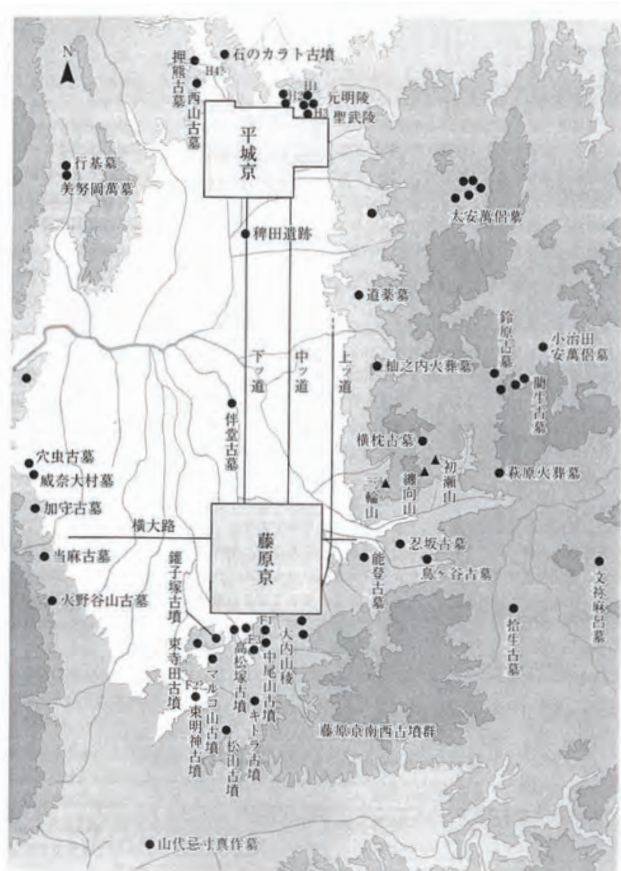
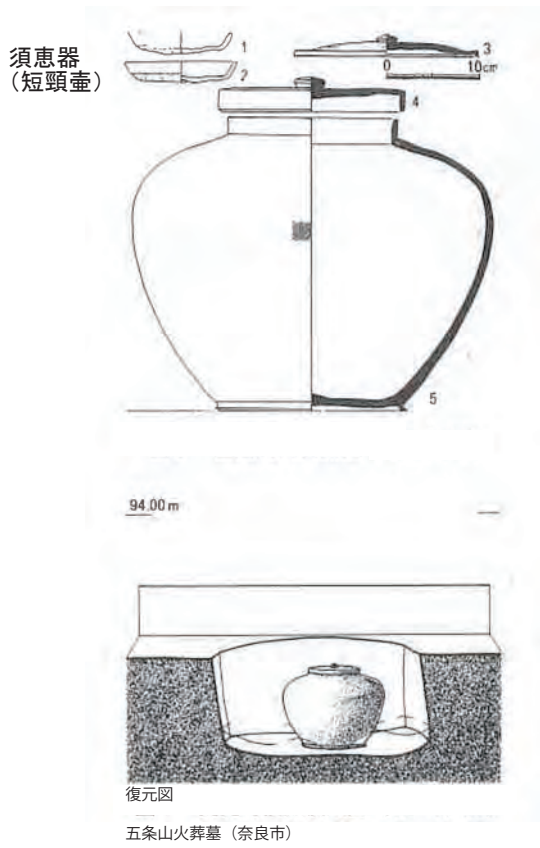


図1 藤原京と平城京の葬送地 (金子 1989)



五条山火葬墓 (奈良市)

金属製



加守古墓

火野山火葬墓

0 10cm

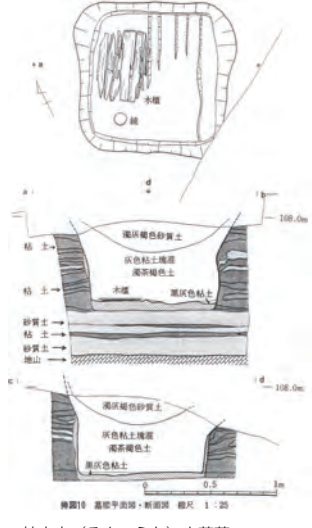


ガラス製

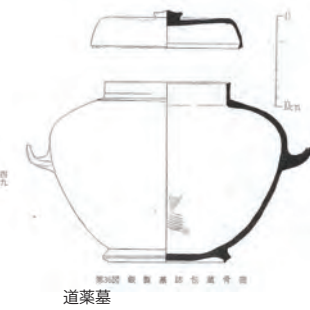


文祢麻呂墓

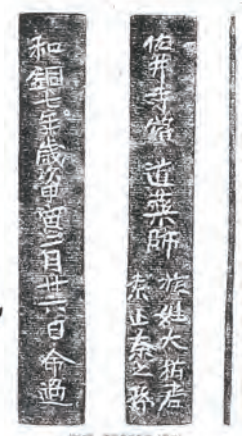
木櫃



杣之内 (そまのうち) 火葬墓

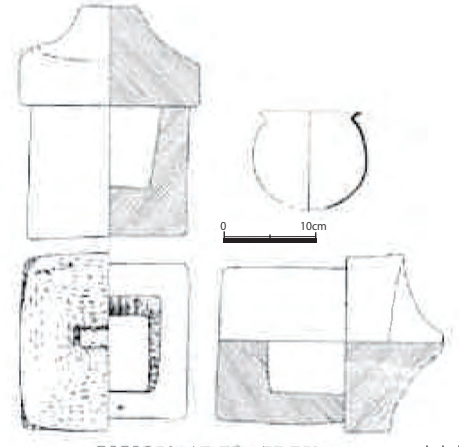


道葉墓



道葉墓・墓誌 (縮尺 1/4)

石櫃



伊豆原島之内穴虫古墳 石櫃 土師器・須恵器でない!

穴虫古墳

図2 都周辺の火葬墓

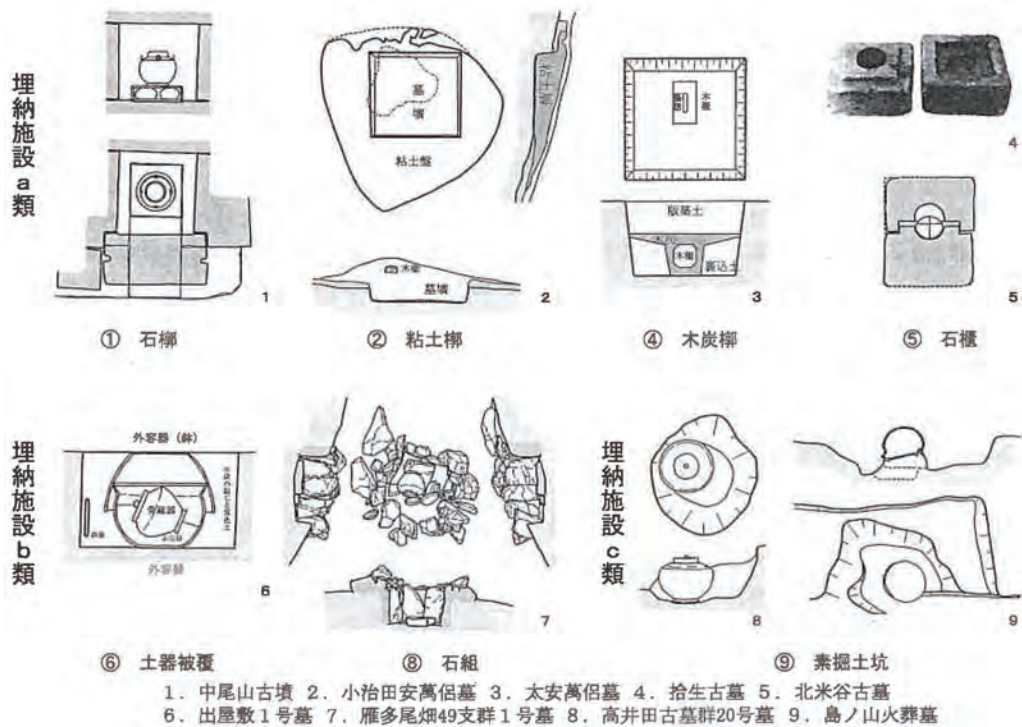


図1 埋納施設の種類

図3 埋葬施設の種類 (小田 2011)

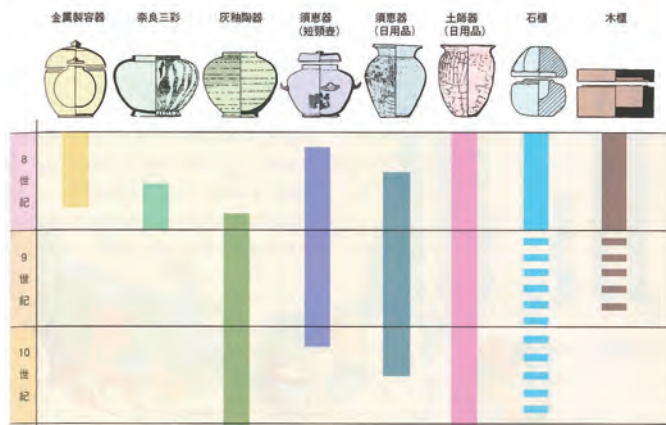


図4 火葬墓消長概念図 (吉澤 2004)

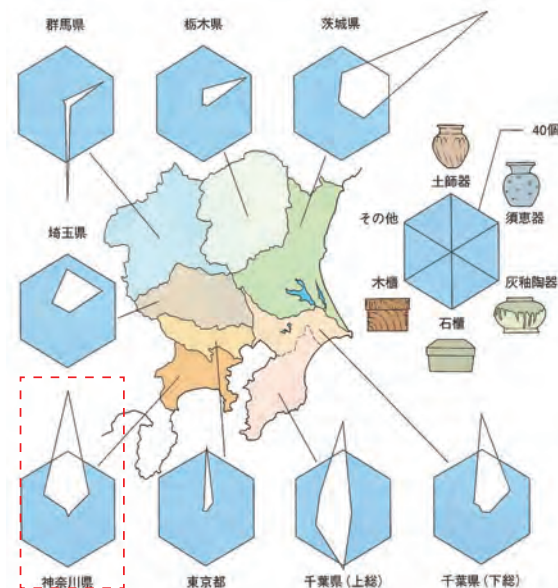
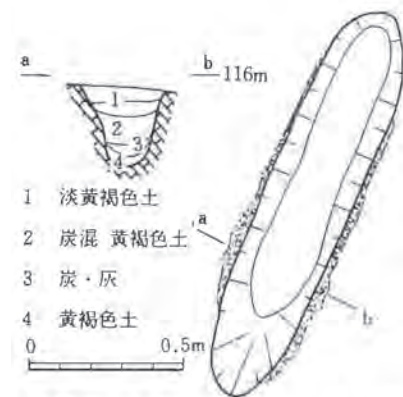
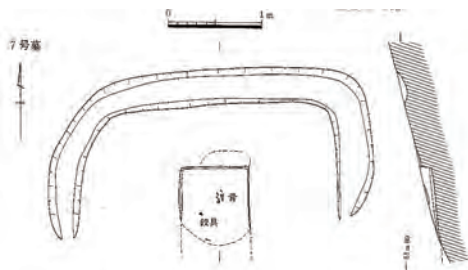


図5 火葬墓の県別出土材質 (吉澤 2004)

杣之内 (そのまのうち) 火葬墓 (奈良県天理市)

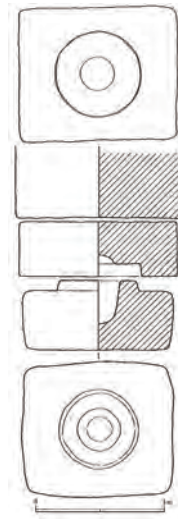


田辺墳墓群 (大阪府柏原市)
※報告書では墳墓として報告されているが、壁面の焼けから火化遺構の可能性はある。

図6 火化地遺構の事例



图7 清水柳北1号墳平面图（静岡県沼津市）



静岡県沼津市清水柳北1号墳石櫃
S=1/8

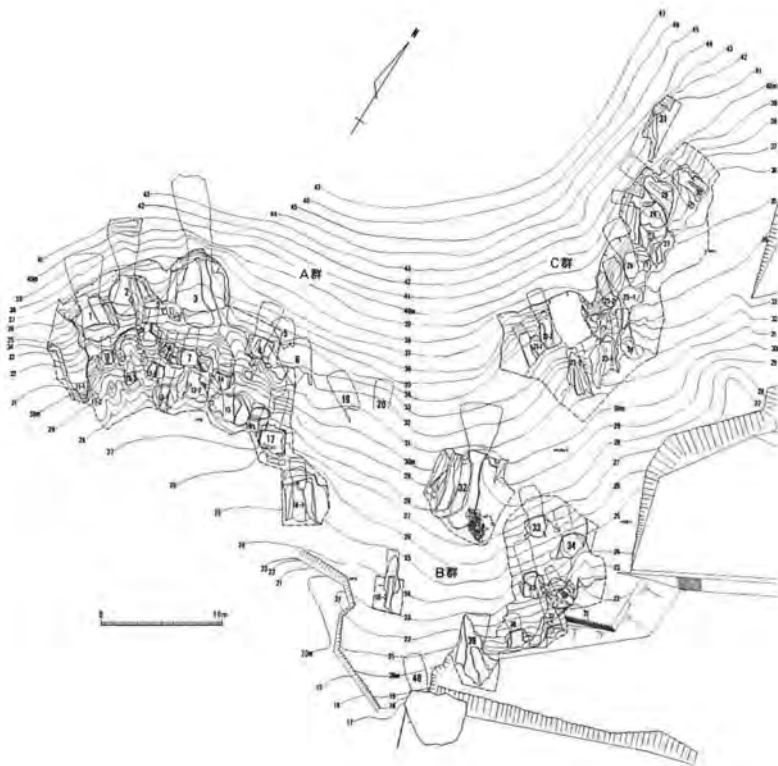


图8 大北横穴墓群 遺構配置図（静岡県伊豆の国市）

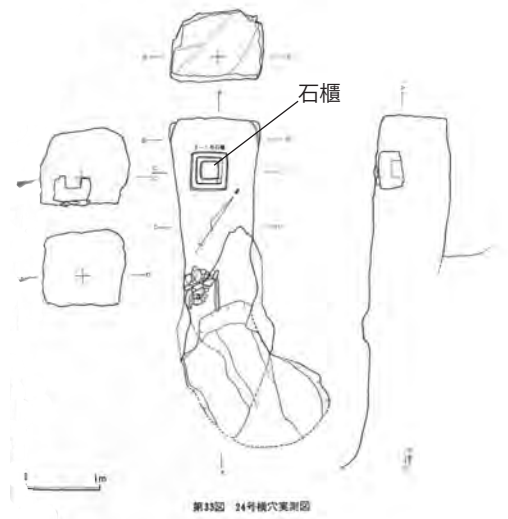


图9 大北横穴群 24号横穴

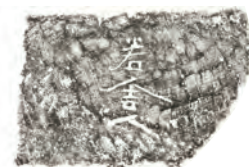


图10 大北横穴群 24号横穴出土石櫃拓本

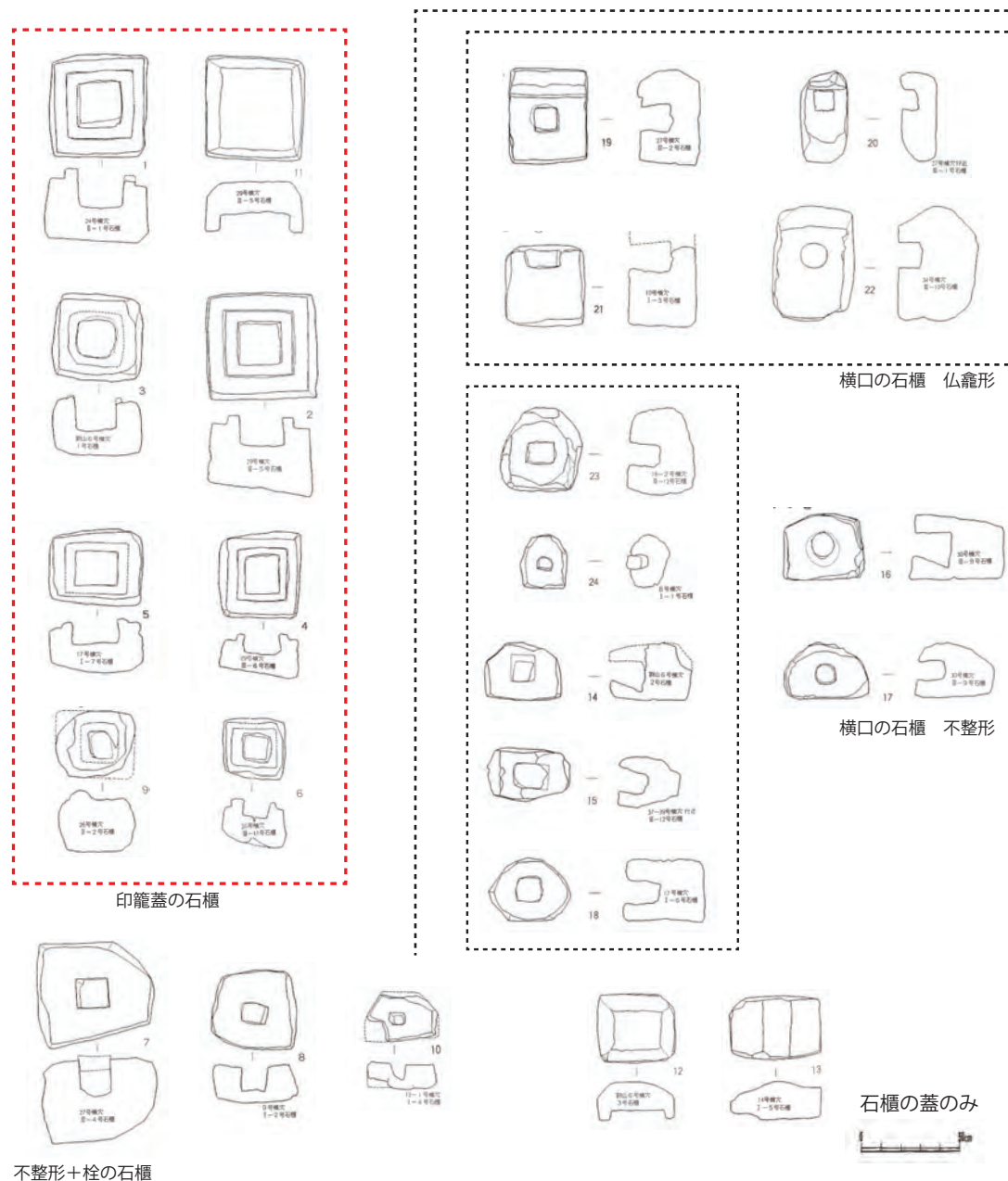


図 11 伊豆の国市大北横穴の石櫃

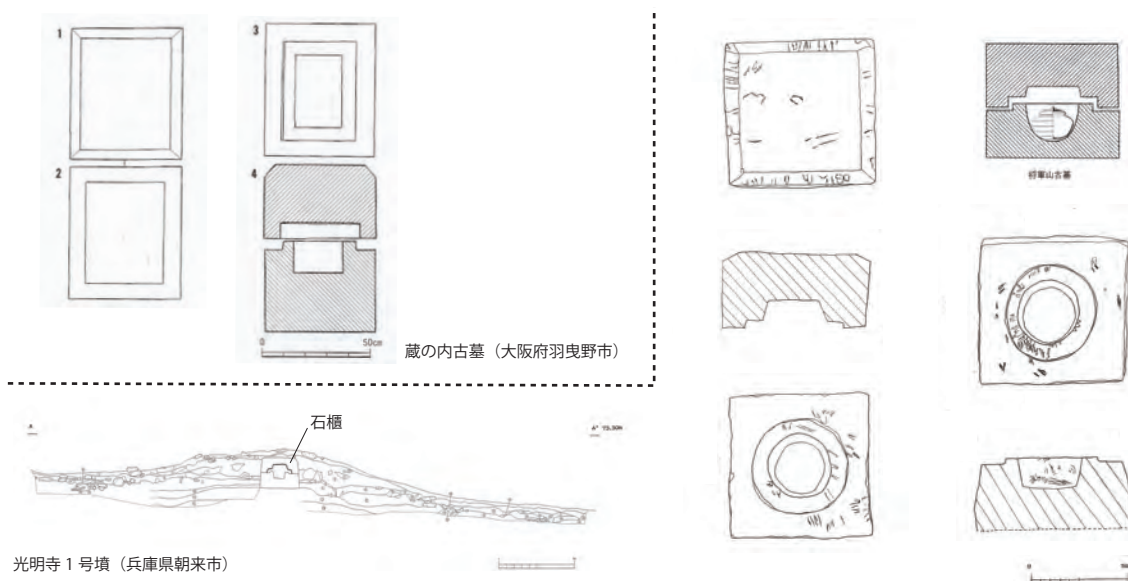
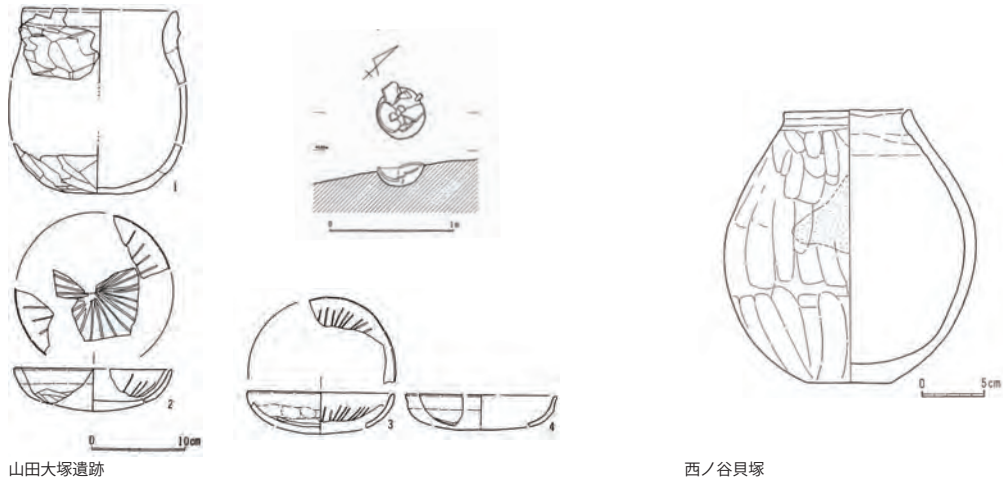


図 12 同系統の石櫃の類例



図13 港北ニュータウン周辺の火葬墓及び周辺の主な遺跡

土師器専用蔵骨器



石櫃

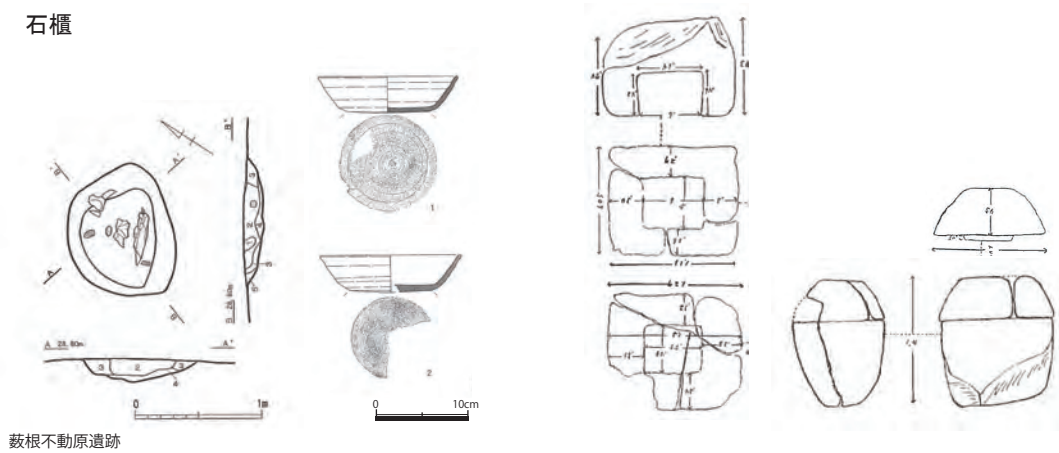
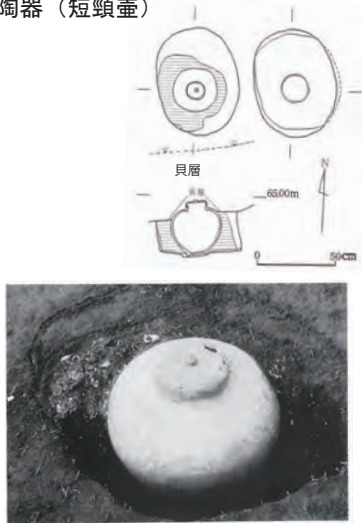


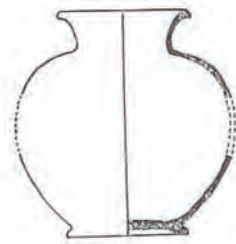
図14 横浜市の火葬墓の類例①

灰釉陶器（短頸壺）



大場・富士塚遺跡

須恵器

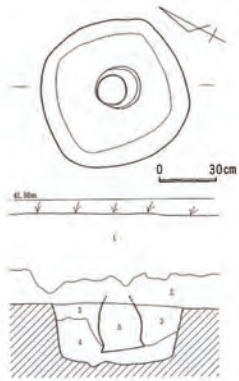


都筑区茅ヶ崎町出土

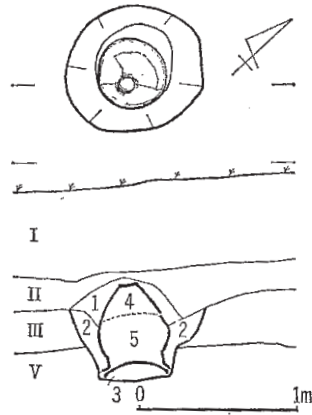
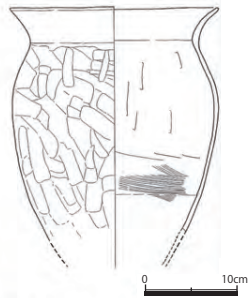


都筑区池辺町前高山出土

土師器転用蔵骨器



西ノ谷貝塚



石原（東方第7）遺跡

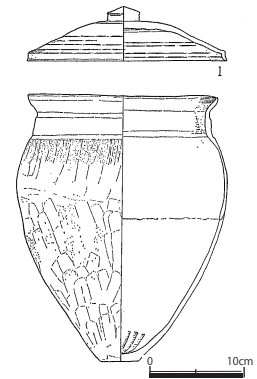
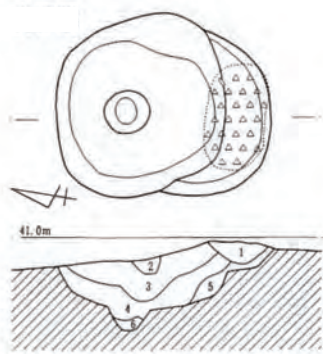
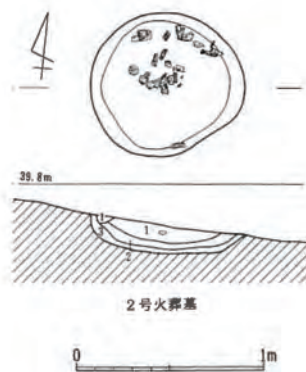


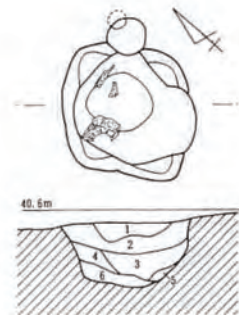
図 15 横浜市の火葬墓の事例②



上台の山遺跡

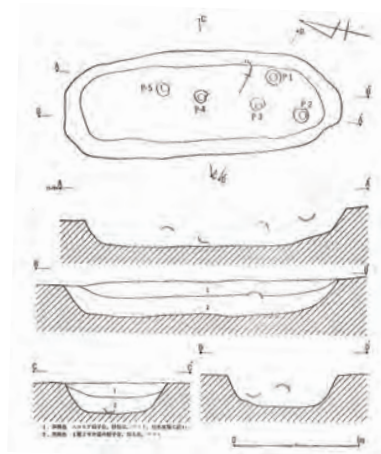


2号火葬墓

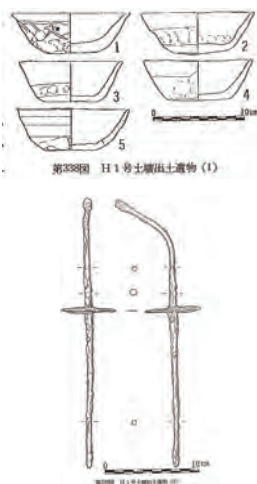


3号火葬墓

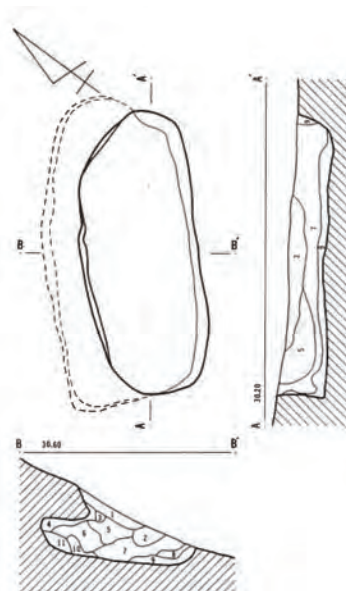
図 16 火葬関連遺構



折本西原遺跡

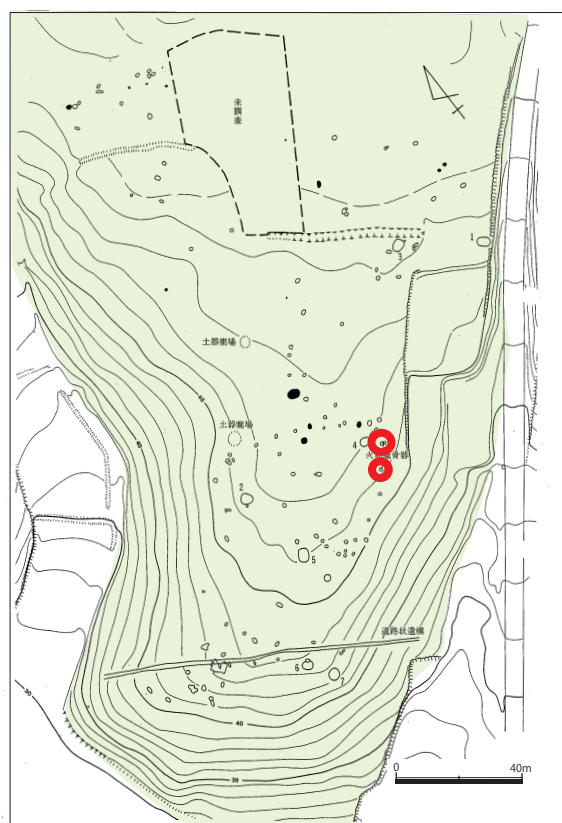


第338図 H1号土壇出土遺物(1)



上の山遺跡

図 17 横浜市の土坑墓の事例



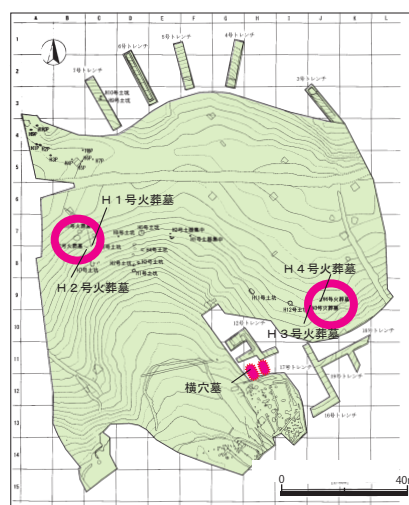
石原遺跡



荻根不動原遺跡



折本西原遺跡



馬場綿内谷戸遺跡

図 18 横浜市内の古代墳墓の立地

※報告書の出典は割愛させていただきます。

見学できる施設・遺跡

- ・東京国立博物館（東京都台東区上野公園）・・・8世紀初頭の蔵骨器の展示
- ・川崎市民ミュージアム（神奈川県川崎市中原区等々力 1-2）・・・川崎市内の蔵骨器の展示
- ・北江間横穴群（大北横穴群）（静岡県伊豆の国市大仁）
- ・清水柳北 1 号墳（静岡県沼津市足高尾上）・・・工業団地内に移築・復元

用語解説

- ・石櫃（いしびつ）：蔵骨器の外用器および蔵骨器として使用された凝灰岩や蛇紋岩等の石製の容器。
- ・横穴墓（おうけつぼ・よこあなぼ）：古墳時代後期及び終末期の墓の一種。丘陵の傾斜面を利用し、横に穴をうがって、内部に以外を埋葬するもの。
- ・灰釉陶器（かいゆうとうぎ）：平安時代に生産された、灰水を釉薬とした陶器。
- ・蔵骨器（ぞうこつき）：火葬骨を納めた容器のこと。
- ・上円下方墳（じょうえんかほうふん）：古墳の形態の一形式。方形の墳丘の上に円形の墳丘をもつもので、特に終末期古墳に多い。奈良市石のカラト古墳、東京都府中市熊野神社古墳等。
- ・奈良三彩（ならさんさい）：奈良時代に生産された施釉陶器。褐色・藍色・緑色の鉛釉により低火度焼成によって色がつけられる。
- ・買地券（ばいちけん）：墓に納められた墓地の売買証文。土地神との契約の型式をとる。
- ・墓誌（ぼし）：名前・出自・経歴・官位・没年・埋葬年・墓地の所在などを記したもの。蔵骨器・埴（せん）・短冊形や長方形の金属の鉄板に刻銘される。

引用・参考文献

- ・大阪府立近つ飛鳥博物館 2004『古墳から奈良時代墳墓へ 古代律令国家の墓制』
- ・小田裕喜「墓構造の比較からみた古代火葬簿の造営背景-畿内と北部九州を対象として」『日本考古学』第 32 号 日本考古学協会
- ・金子裕之 1989「貴族の奥津城、民の墓」『古代の都と村』古代史復元九 鈿山社
- ・黒崎直 1980「近畿における 8・9 世紀の墳墓」『研究論集VI』奈良国立文化財研究所
- ・小林義孝「火葬はどのように受容され、在地化したか-関東地方の石櫃をもつ火葬墓を例に」『地域考古学の展開-村田文夫先生還暦記念論文集-』
- ・栃木県立博物館 1995『東国火葬事始-古代人の生と死-』
- ・長谷川厚 1983「歴史時代墳墓の成立と展開（一）-特に相模・南武蔵の火葬墓の様相を中心として-」『古代』第 75・76 合併号 早稲田大学考古学会
- ・橋口定志 1985「平安期火葬墓の性格について-南関東の事例から-」『生活と文化』研究紀要第 1 号 豊島区立郷土資料館
- ・吉澤悟 2004「火葬墓の出現と広がり」千葉県の歴史 資料編 考古 4（遺跡・遺構・遺物）財団法人千葉県資料研究財団編・千葉県